

中国経済の動向 2022年 京二上海の取り組み

コロナ時代におけるお客様目線での
購買代行の実現にむけて

中国プロジェクト
執行役員
ゆしんけつ
俞 箴潔



2021年の中国経済は緩やかな景気回復の一方で
激動の1年となった。特に商社にとっては複数の外部か
らの危機に直面し、非常に厳しい1年だったと言える。

昇で鉱山は石炭の在庫を増加させたが、発電所へ卸
さない傾向がある。中国政府が調整に乗り出している
が、価格上昇は避けられない流れだ。

危機1 物流コストの高騰による利益圧迫と

価格競争力の低下

コロナ以来、各国の航空会社の減便と中国国内で
の集中的な製造による輸出の急激な増加の影響で、
航空便の料金が約30%、船便の料金が約50%も上
昇している。付加価値の低い大量生産の製品にとっ
て、大打撃と言え、お客様との価格交渉による利益
維持が急務となっている。さらに、**大量生産の製品か
ら高い品質の技術開発型の製品への商品展開によっ
て、利益を獲得することが生きる道の一つとなる。**

2022年の京二上海の取り組み

これらの危機の中で2022年を迎える。京二上海の
7名の社員と共に工具、精密治具、加工部品の3つ
の分野を柱としてお客様に最適な価格と納期で製品
を提供していく。日本での緊急事態宣言によって一時
的に中国からの輸出が落ち込んでいたが、コロナ終
息に向けて、各業界のお客様の生産回復による受注
の増加に繋げたい。**新規に精密部品加工メーカーと
連携することによって、従来、難しかった加工の量産
化も行っていきたい。**

危機2 原材料の価格上昇

鉄鋼、アルミ、銅の価格がみるみる上昇し、勢いが
止まらない。2020年に約20%上昇したにもかかわらず、
2021年はさらに約30%も上昇している。鑄造業
界、自動車、建築業界は値上げせざるを得ない状況
だ。主な原因は金融緩和政策による資源への投資の
増加、原材料の関税の引き上げと製造業の好況による
需要の増加で、京二の工具と部品ビジネスも影響を
受けている。**一部メーカーの努力と自社のコストダウン
で原価を維持しているが、材料の割合の大きい鉄鋼
部品は値上げを最小限に抑えることが精いっぱいだ。**

日本の製造業では、海外からの製造部品を新規に
採用してもらうことは大変難しい。しかし、付加価値
の高いビジネス分野として大いに力を入れ、**お客様の
代わりに生産管理、出荷する際の管理などを完備し、
実力のあるメーカーと連携の上、日本のお客様に品質
の高い中国製の部品を提供していきたい。**以前のよう
に簡単に日中両国を往復できない中、お客様のコスト、
品質、納期、アフターサービスといった様々な面で日
本の既存と新規のお客
様を支えることが2022
年の目標となる。

危機3 電力価格の上昇で企業コスト増加

2021年10月以降、工業団地の電力価格が上昇し
ている。場所によっては1.5倍も上昇した。価格の上

上海市住宅街でのコ
ロナ対策の様子
自宅待機者へのPCR
検査を実施している

